

『就実教育実践研究』第9巻 抜刷
就実教育実践研究センター 2016年3月31日 発行

就実子育てアカデミーにおける “親子ふれあいタイム”の実際(活動報告)

Practice for “Parents and Children Contact Rapport Time” in Shujitsu
Child-Rearing Support Academy

石山貴章・松本理子

就実子育てアカデミーにおける “親子ふれあいタイム”の実際（活動報告）

石山貴章（教育心理学科） 松本理子（就実こども園）

Practice for “Parents and Children Contact Rapport Time” in Shujitsu Child-Rearing Support Academy

Takaaki ISHIYAMA (Department of Educational Psychology)

Noriko MATSUMOTO (Center for Early Childhood Education and Care (Shujitsu KODOMO-EN))

抄録

本邦では、平成20年8月1日に開設された「就実子育てアカデミー」における就実こども園の子育て支援活動“親子ふれあいタイム”を中心として報告を行った。本事業の活動の柱としては、「協働的な実行委員会の形成」「ひろば型事業である親子ふれあいタイムの実施」「情報発信型子育て支援である親子ふれあい通信の発行」等である。本活動の流れや取組を報告することによって、子育て支援の具体的な実践や意義について明らかにすることができたと考えている。今後も、本事業を継続し、就実こども園における“親子ふれあいタイム”の意義と課題について検討していきたいと考える。

キーワード こども園 子育て支援 親子ふれあいタイム 報告資料

In this paper, we make a report of center for early childhood education care child-rearing support by focusing on academy parents and children contact rapport time (2008.8.esutab-lish). Our data are based on longitudinal practice in “Shujitsu KODOMO-EN”. Data of this year were examined to investigate how education and care child rearing support. This primary service is “collaborative committee” “parents and children contact rapport time” and “publication of the Freai communication service”. Using support data of parents and children and practice data, we are significant from a viewpoint of parent-child relationship. This report contributed to the understanding of how situational and parent-child involvement in care child-rearing support. Future studies can explore some of the issues identified in this study and more representative sample of practice data and report.

Key Words Center for Early Childhood Education and Care child-rearing support academy parents and children contact rapport time report material

I. はじめに

岡山県における「岡山いきいき子どもプラン2015」（平成27年度～平成31年度）では、「全ての子どもたちが晴れやかな笑顔で暮らす生き活き岡山を目指した取り組み」として、保護者や子どもたちの幸せの視点に立って、次代を担う全ての子どもたちが、その最善の利益を確保されながら、心身ともに健やかに生まれ育ち、家庭や地域で心豊かに生活できる環境づくりが目指されている。ここでの体制づくりの柱としては、1) 結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境づくり、2) 子どもの心と体をはぐくむ家庭づくり、3) みんなで子ども・子育てを応援する地域づくり、4) 子育て家庭をきめ細かくサポートする体制づくり、5) 子どもを守り支援する体制づくりが掲げられている。

特に、今回報告する「就実子育てアカデミー」の「親子ふれあいタイム」は、上記の、子育てを応援する地域づくりと関連しており、社会全体で子育て支援を行い、地域ぐるみで子育てを推進し、安全・安心な子育て環境の提供の場として活動が継続されている。

より具体的には、1) 子育て支援ネットワークの充実、2) 子育て支援意識の育成、3) 親子ふれあいの拠点づくり、4) 多様な子育て支援の掘り起し、5) 地域における人材の養成・確保、6) 子育てサービスの情報発信等に貢献していると考えられる。

就実こども園（平成24年4月開設）における地域の子育て支援事業としてスタートした「親子ふれあいタイム」「育児相談」などは毎週実施されている。「育児相談」は大学教員と連携を図りながら水曜日に実施しており、「親子ふれあいタイム」は、就実大学・就実短期大学の附属機関である就実教育実践研究センター及び「就実子育てアカデミー」（平成20年8月1日開設）がコーディネートしながら、運営・活動を展開している。本アカデミー活動の目的は、1) 地域の子育てに関わる人々が集い、お互いの学びとなる「場」の構築、2) 他の親子をモデルとする自らの子育てスタイルの確立、3) NPO法人を中心とした地域の子育てに関する協働組織の構築、4) 大学・短期大学の人的資源、物的資源の活用、5) 地域の子育てリーダーの養成等（佐藤ら、2013）とされており、この他にも、子育て支援に関する情報提供や情報発信、学生を中心としたボランティア活動の展開や学生たちの学びの場としての位置づけも考えられている。

II. 活動の実際

1. 「就実子育てアカデミー」について

就実子育てアカデミー（以下、アカデミーとする）における「親子ふれあいタイム」に関しての利用概要及び活動内容について以下に記す。就実子育てアカデミー実行委員会は、大学、短期大学、NPO法人、企業、町内会、行政、幼稚園、保育園、小学校、こども園に所属している16名のメンバーから構成（2015年4月現在）されており、年に2回、実行委員会が開催されている。なお、就実子育てアカデミーの事業目的（平成20年8月6日施行）は、以下の7項目となっている。

- 1) 地域の子育てにかかわり互いの学びの「場」の構築
- 2) 未就園児（0～5歳）の定期的な受け入れ及び異年齢児との交流の「場」の構築
- 3) 他の親子をモデルとする自らの子育てスタイルの確立
- 4) NPO組織を中心とした地域の子育てに関する協働組織の構築
- 5) 大学・短期大学の人的資源・物的資源の活用
- 6) 地域の子育てリーダーの養成
- 7) 専門性をいかした子育てに関する情報発信

また、本事業は、岡山備前県民局からの事業支援を受けながら、平成20年度より実施されている事業であり、行政、子育て支援組織、地域社会との連携を深めるために取り組まれている。テーマは、「地域や家庭における子育て支援事業」であり、本年度も継続して活動している。

就実子育てアカデミーパンフレット（資料1）

就実子育てアカデミー

（就実大学・就実短期大学）

設立年月日	平成20年8月6日
主なメンバー	就実大学教育実践研究センター・NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん・株式会社システムズナカシマ・就実大学教育学部（初等教育学科・教育心理学科）・就実短期大学幼児教育学科・宇野小学校・宇野幼稚園・宇野学区連合町内会・宇野保育園・浜保育園・NPO法人岡山子どもセンター
所在地	岡山県岡山市中区西川原15-1 就実こども園
連絡先	086-206-2120 fureai2525@shujitsu.ac.jp

活動内容

「就実子育てアカデミー」の目的

- 地域の子育てにかかわる人々が集い、お互いの学びとなる「場」に構築
- 0～5歳児（未就園児）の定期的な受け入れ及び異年齢児との交流の「場」の構築
- 他の親子をモデルとする自らの子育てスタイルの確立
- NPO組織を中心とした地域の子育てに関する協働組織の構築
- 大学・短期大学の人的資源・物的資源の活用
- 地域の子育てリーダーの養成

1 親子ふれあいタイム（サークル活動・子育てひろば）

開催場所：就実こども園（10：00～12：00）
 参加対象者：地域の未就園児とその保護者
 参加対象者：保育園児・幼稚園児～小学生（0歳からでもできる活動内容を実施）
 概要：毎週火曜日はプログラムを組んだサークル活動を実施しています。同年代のお子さんを持つ保護者の方で構成されたグループで1年間継続的な子育て支援を行います。木曜日には子育てひろばを実施しています。専門スタッフと共に学生ボランティアが参加してノンプログラム型のひろば事業を通して子育て支援を行います。



2 親子ふれあいタイム（親の学び講座）

開催日時：毎週木曜日（10：00～12：00）
 開催場所：就実こども園
 参加対象者：地域の未就園児とその保護者
 実施内容：親の学び講座では、子どもや子育てについて学習ができる機会を設けています。講師は主に、大学教員や専門家を講師として招きます。少人数で実践を交えながら楽しく参加できます。
 講座テーマ：ベビーマッサージ・0歳のつどい・パパといっしょ・わらべ歌・絵本・あそび・歯磨き指導等



3 子育てビタミンの発行・配布

情報発信型子育て支援として、これまで大学・短期大学に寄せられた、地域の保護者からの子育てに関するQ&Aを体系的に編集し、小冊子を作成しました。子育て支援の一環として「こんにちは赤ちゃん事業」等を通じて県内の親子、子育て支援に関わる期間に無料で配布しています。また、子育て支援携帯電話ポータルサイトの開発・運用にも取り組んでいます。（URL：<http://syujitsu-kosodate.jp/>）





感染症・予防接種について
(薬学部・堀田先生)



トイレトレーニング
(陣田先生)



赤ちゃんからの性教育
(西尾助産師さん)



0歳の集い
(陣田先生)



わらべうた
(井上先生)

子育てカレッジネットワーク構築事業(他市町へのアウトリーチ事業)

1 学外就業やんちゃキッズの実施報告

2014年9月24日(水)の10:00～11:30(開場9:30)に、就実短期大学の1年生54名(子育て支援ボランティアグループGBAメンバーおよび、中四国保育学生研究大会参加メンバー)が、ゆめトピア長船で「学外就業やんちゃキッズ」を開催し、延べ77名(大人34名、子ども43名)のみなさまにご来場いただきました。

「学外就業やんちゃキッズ」のプログラムの前半部では、パネルシアター「おぼけのおつかい」、リズム体操「サンサンたいそう」、オペレッタ「おにぎりごころ」の公演があり、幕間には手遊びが披露されました。後半部分では、開場の中に自由遊びのコーナー(運動あそび、新聞シャワー、音遊び、ダンボールハウス、お絵かき、手作りおもちゃ等)や、身長・体重測定、経験豊かな保育士・助産師による子育て相談コーナーを設置しました。また、ご参加いただいた子育て世帯にたいし、虐待防止の啓発ディッシュの配布なども行いました。

○保護者からの感想

- ・手遊びやリズム体操など、真似てしようとして喜んでいました。(2歳児の母親)
- ・ダンボールハウスがとても可愛かったです。工夫もいっぱいあって楽しんでいました。新聞シャワーも盛り上がりっていました。学生のみなさんも親切でした。(0歳、1歳児の母親)



パネルシアター「おぼけのおつかい」



リズム体操「サンサンたいそう」



オペレッタ「おにぎりごころ」



身長・体重測定コーナー



ダンボールハウス



音遊びコーナー

2. 「親子ふれあいタイム(サークル活動・子育てひろば)」について

1) 開催場所・時間：就実こども園2F(10:00～12:00)

2) 参加対象者：地域の未就学児とその保護者

3) 利用案内

(1) 利用登録について

年度始めの第1回利用の際に、利用登録カードを記入の上、提出となっている。記入された個人情報については慎重な管理がなされており、緊急時などの対応のために利用させてもらっている。利用登録料は無料だが、活動内容によっては、材料費・教材費等として実費を徴収する場合もあり、2回目以降の利用については、受付票名簿に○印を付けるだけで参加できるようになっている。なお、毎回の参加予約は、パソコン及び携帯電話のメールからでもできる仕組みとなっている。

(2) 子育て支援室での遊具・絵本等の利用について

玩具、絵本等は自由に利用可能となっており、毎年、追加、更新をしている。

(3) おやつ・飲み物について

おやつを持ち込みは許可していないが、飲み物（水・お茶）に関しては持ち込み可となっている。母乳・ミルクの授乳は自由となっており、授乳場所も確保されている。

(4) 園庭開放について

活動中に、保護者の責任のもと、園庭で遊ぶことは許可されている。開放時間は11:00～12:00となっている。

(5) 自転車・ベビーカー・駐車場について

それぞれの駐車場は確保されており、指定の場所に止めることができる。

(6) おしめの交換について

おしめ交換時は、おしめ交換台が設置されており、自由に利用することができる。ただし、使用済のおしめは持ち帰りとなっている。

(7) 食堂の利用について

就実大学構内にある喫茶店や食堂等を自由に利用することができる。食堂では、大勢の学生と交って親子で食事をしている場面がよく見られている。

4) 活動内容

(1) 親子交流の場・学びの場

保護者同士、子どもたち同士の交流の場として位置づけられており、また、親の学びプログラムとして、子育て支援講座が随時実施されている。詳細については、「ふれあい」通信、子ども園の情報コーナー、ホームページか携帯サイトでも確認ができるようになっている。なお、子育て支援講座希望の場合は、別途「講座希望」を連絡する必要がある。

(2) 子育て相談

子育てに関する大学専門スタッフへの相談希望についても随時受け付けている。就実大学教育学部に心理臨床相談室も開設（2015年、4月）され、より充実した相談活動を提供することが可能となっている。相談希望者は、水曜日の13:00～16:30までに電話での申し込みが必要となっている。

(3) 学生ボランティアについて

就実短期大学・就実大学の学生ボランティアが参加し、親子ふれあいタイムの活動支援を行っている。将来、幼児・保育や学校教育現場で仕事をしたいと考えている学生たちが多く参加している。

(4) 親子ふれあいタイム活動 (例)

平成26年度サークル活動・年間活動 (火曜日)

回	月	日	活動内容	園行事	対象年齢
					グループ
	4		休み	4/3 始業式 4/5 入園式 4/19 親子遠足	
1 2 3	5	13 20 27	パッチンがえる作り パッチンがえる作り パッチンがえる作り	5/2 子どもの日の集い	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月
4 5 6 7	6	3 10 17 24	水遊び (風船) 水遊び (風船) 水遊び (風船) 水遊び (風船)		0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月 予備
8 9 10	7	1 8 15	水遊び (小麦粉粘土) 水遊び (小麦粉粘土) 水遊び (小麦粉粘土)	7/7 七夕まつり会 7/18 終業式	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月
	8		休み		
11 12 13 14	9	2 9 16 30	巧技台で遊ぼう 巧技台で遊ぼう 巧技台で遊ぼう 巧技台で遊ぼう	9/1 始業式 9/8 お月見会	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月 予備
15 16 17 18	10	7 14 21 28	どんぐり遊び どんぐり遊び どんぐり遊び どんぐり遊び	10/11 運動会 10/24 遠足 (幼) 10/31 ハロウィン	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月 予備
19 20 21 22	11	4 11 18 25	新聞紙で遊ぼう 新聞紙で遊ぼう 新聞紙で遊ぼう 新聞紙で遊ぼう	11/15 オール就実デイ	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月 予備
23 24 25	12	2 9 16	リズム遊び リズム遊び リズム遊び	12/6 生活発表会 12/10 餅つき 12/17 クリスマス会 12/19 終業式	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月
26 27 28	1	13 20 27	お正月遊び お正月遊び お正月遊び	1/5 始業式 1/8 新年お楽しみ会	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月
29 30 31	2	3 10 17	大きくなった調べ 大きくなった調べ 大きくなった調べ	2/3 豆まき会	0歳児～11か月 1歳児～1歳11か月 2歳児～2歳11か月
	3		休み	3/3 ひな祭り会	

平成26年度ふれあいタイム・年間活動 (木曜日)

回	月	日	活動内容	園行事	親の学び講座
	4		休み	4/3 始業式 4/5 入園式 4/19 親子遠足	

1	5	13		5/2 子どもの日の集い	絵本・わらべうた
2		20			
3		27			
4	6	3			離乳食について
5		10			
6		17			
7		24			
8	7	1	七夕まつり会	7/7 七夕まつり会	リトミック
9		8		7/18 終業式	
10		15			
	8		休み		
11	9	2	お月見会	9/1 始業式	ベビーダンス
12		9		9/8 お月見会	
13		16			
14		30			
15	10	7		10/11 運動会	ベビーマッサージ
16		14		10/24 遠足（幼）	
17		21	遠足		
18		28		10/31 ハロウィン	
19	11	4		11/15 オール就実デイ	親子体操 感染症・予防接種
20		11			
21		18			
22		25			
23	12	2		12/6 生活発表会	赤ちゃんからの 性教育
24		9		12/10 餅つき	
25		16	クリスマス会	12/17 クリスマス会 12/19 終業式	
26	1	13	おたのしみ会	1/5 始業式	わらべうた
27		20		1/8 新年お楽しみ会	
28		27			
29	2	3		2/3 豆まき会	ベビーサイン 家族の健康
30		10			
31		17			
	3		休み	3/3 ひな祭り会	

(5) 保護者向け研修会「子どもの発達について」(2015年10月22日11:00~12:30実施)

親子ふれあいタイムでは、定期的に、専門家や実践者などに協力を得ながら、子育て支援に関連した研修や講演、実技などのプログラムを提供している。以下に、筆者が担当した「子どもの発達について」による参加者のアンケートを一部示す。

アンケート（自由記述）より（抜粋）

①このコースに参加されて心に残ったこと・感想などをお書きください

・成長する上で、できない時が大切という言葉が心に残りました。できることが増えてきて、目を離している時間も増えていますが、今どのようなことをしているのか、どのようなことに興味があるのか等、寄り添う時間を増やそうと思いました。

- ・何かをすること、できることについて、その過程の意味を考えたいと思いました。なるべく禁止せず、よいところをほめたい。
- ・子どもの良いところで、「人見知りをする」ということも、親を分かっている証拠なので、“良いところ”と言えるようになりたいと思いました。
- ・発達については、障害のある、ないにかかわらず、とても重要なことだと思っていたので、細かい部分までお話が聞けて、とても勉強になりました。
- ・他の子と比べて発達の遅れを気にしていましたが、本人自身を総合的に見ていないことに気づきました。本人の個性を伸ばす子育てをしていこうと思いました。
- ・子どもの発達に出来ないという概念がないことが分かりました。同じ月齢の子と比べてわが子ができないことを心配していますが、温かく見守っていきたいと思います。発達障害の子のバスで通う話はとても印象的でした。
- ・先生がとても優しい話しぶりで心に残りました。発達→包みを開くというのが妙に納得でした。
- ・横の発達あつての縦の発達なんですね。どうしても、縦の発達到期待してしまうので、これからは横の発達にもしっかり目を向けていきたいと思いました。
- ・どうしても平均的な発達を望んでしまいがちですが、その子その子に合わせた発達を子どもの目線に合わせて見守るのが、一生懸命教え込むことよりも近道なのかなというふうに思いました。なかなか難しいことですが心に余裕を持って見守っていききたいです。
- ・時々、このような講習を聞きたいと思いました。
- ・子どもの心にもっと寄り添っていききたいなと思いました。
- ・長男の成長が気になり、いつも周りのお友達と比べて落ち込んだり、悩んだりする日々です。他と比べるのではなく、“その子自身を見る”なかなか出来ないのですが、もう一度、その大切さを自分に言い聞かせて子育てをしていこうと思いました。
- ・子どもがよく家で絵を描いたりするのを、じっくり見てあげていなかったことを反省しました。少しずつ絵を上手に描いていることをよく見てあげようと思いました。
- ・普段、何げなく過ごしているだけでは気づかないことがたくさんあると思いました。子どもが出しているサインや心の声に耳を傾けることはとても大切だと感じました。うちの子はよくしゃべるし、よく食べるし、よく気が付くから大丈夫と思っているだけではいけないんだとも思いました。まだまだ様々なことを考えていたり、思っているんだと感じました。今日の講座を今後の育児に活かしていきたいです。本当に内容の濃いお話でした。大変良かったです。

②今後、どのようなことを学びたいですか

- ・発達をうながす遊びについて ・トイレット・トレーニング
- ・離乳食やおやつ（どのようなものがあるか、時間、量など）
- ・食育や英語に興味があります。
- ・子どもの特性を見極めるようになりたいので、アドバイス等をいただきたいです。
- ・わらべうたや絵本でお勧めのものや良い本（親が読み聞かせる本）などを知りたいです。
- ・親としての子育て支援についての事例。
- ・食育について ・子どもの栄養について ・偏食対策について
- ・免疫力を高めることについて
- ・アンガーマネジメントについて（そうしてもイライラしてしまうことがあるので）
- ・子どもの叱る時の言葉がけとか、消極的な子への対応の仕方とか、保育士さんから具体的な話が聞いてみたいです。
- ・薬の子どもへの影響について ・病院いらずの体のつくり方
- ・ストレスに強い子にするには ・教育費、生活費などの経済について
- ・年齢に応じた子どもとの関わり方について
- ・今回の「子どもの発達」のようなお話を定期的にお聞きしたいです。

③親子ふれあいタイムについて、気づいたこと、提案等何でもご自由にお書きください

- ・同じ月齢のお子さんのママと話せてよかったです。
- ・リズム体操など、家で遊べるようなことを教えて欲しいです。
- ・わらべうた、絵本のオススメを教えてください。
- ・楽しく参加させていただいています。
- ・本が好きなので、時々、入れ替えていただけると嬉しいです。
- ・いろいろなお母さんの話が聞けることが一番参考になります。
- ・朝10時開催だと、準備がバタバタしますし、2時間は少し長いかなと思うので、10時半～12時ぐらいだと、よりよいと思います。
- ・育児についてや触れあい方についても学ばせていただいているので、とてもよい機会だと思っています。
- ・いろいろな人と話ができるので楽しいです。

④ご自身の子育て全般についての悩み、困っていること、感じていることなどがあれば、何でもご自由にお書き下さい

- ・仕事 復帰後の子育てと仕事の両立 夫が忙しい人はどうしてるか
- ・遊びをあまり広げてあげられない（見守るのがメイン）

- ・同級生と遊ぶ機会が少ない（社会性を育てたい）
- ・最近、オムツが取れたんですが、夜中、時々おねしょをしまいます。夜だけオムツをした方がいいのでしょうか？そうすると、またオムツに慣れてしまわないか、少し心配になりました。
- ・ずっと動き回って落ち着きがありません。本を読んでも聞いてくれたことがありません。どのように関わると落ち着きが出てくるのでしょうか。
- ・上の子は内気で少し心配しています。下の子は幼稚園に入れなくて育てようかとも思っていますが、お友達と遊ぶ機会が減るのが気がかりです。
- ・卒乳について
- ・食べること。なかなか食べる量が増えず心配です。与える側の負担があまりなく、子どもが楽しく栄養をとれる方法があれば知りたいです。
- ・姉の行動（他児にえらそうにして、トラブルになることが多い）
- ・子どもたちとのかかわりの時間がゆっくりと取れないのが悩みです。

（6）子育てカレッジネットワーク構築事業（アウトリーチ単年事業, 2014.9.24実施）

就実短期大学の先生方や学生たちで活動が展開されている「就実やんちゃキッズ」により、「学外就実やんちゃキッズ」が2014年9月24日（水）にゆめトピア長船において実施された。本事業には、延べ77名（大人34名、子ども43名）が参加し、プログラム前半では、パネルシアター「おばけのおつかい」、リズム体操「サンサン体操」、オペレッタ「おにぎりころころ」の公演や手遊び等も披露されている。後半には、自由遊びや子育て相談等が行われている。

（7）キッズワンダーランド

教育心理学科主催の活動であり、大学教員や学生によって、段ボールハウス、パズル&ふくわらい、風船遊び、読み聞かせ、モザイクハウス等の遊び活動等が展開されている。子どもたちの成長・発達に大きく貢献してもらっている活動であり、保護者や子どもたちも楽しみにしている取組となっている。2015年度は、7月11日、10月24、25日（大学祭）、及び12月（実施予定）となっている。

（8）親子ふれあいタイム月刊誌「ふれあい通信」（資料3）

親子ふれあいタイムの月刊誌として作成、発行しており、行事予定はもちろん、活動の報告やエピソード、子育て支援に関する情報等、盛りだくさんの内容となっている。また、「ほのぼのコラム」として、毎回、大学・短期大学等の先生方に原稿を寄稿していただき子育て支援に関連した、さまざまなメッセージが載せられている。

親子ふれあいタイム月刊誌「ふれあい通信10月号」(資料2)

2015(平成26)年10月1日発行 第71号(1)

親子ふれあいタイム月刊誌

ふれあい通信



発行：就実こども園
就実子育てアカデミー実行委員会
〒703-8258 高山市中區西川原15-1
TEL: (086) 206-2120 FAX: (086) 206-2110
E-mail: fureai@shujitsu.ac.jp
HP: http://kids.shujitsu.ac.jp

すっかり秋らしくなりましたね。こども園では、10月10日(土)の運動会に向けた取り組みが見られました。天気の日には、秋空の下でしっかり体を動かして体操やかけっこ・リレーなどの練習を楽しんでいる姿が見られます。雨の日には室内で話し合いをしたり、運動会に必要な物を作ったりしてみんなが運動会に向けて準備をしています。今年の運動会のテーマは「笑顔 あふれる 就実キッズ」として、学年ごとに、子どもたちの笑顔が一杯になる演技・競技に取り組みます。それぞれの学年が思考をこらした内容です。かわいいう小道具や大道具がだんだんと増えていき、運動会に向けて子どもたちの気持ちがあふれつつ高まってきています。運動会には、就園前のお子さんの演技もありますので、「親子ふれあいタイム」に来られているみなさん、ぜひ参加してくださいね。おみやげもご用意しています。運動会当日は、ご家族とご来賓をお招きし、157人の子どもたちが元気に演技・競技に取り組みます。園庭に元気一杯の子どもの声と保護者・ご来賓の皆さん方の声援が聞かれますことと思います。

園長 谷 良江

親子ふれあいタイム：H27年10月の予定

毎週火曜日・木曜日開催 午前10～12時(原則として週1回の参加)

火曜日(同年齢)	水曜日(子育て相談)	木曜日(異年齢)
6日 親子ふれあいタイム 1歳～1歳11ヶ月(予約9/28)	7日 子育て相談 13～15時受付	1日 親子ふれあいタイム 予約は9月24日(木)
20日 親子ふれあいタイム 2歳～2歳11ヶ月(予約10/13)	14日 子育て相談 13～15時受付	8日 親子ふれあいタイム 予約は9月30日(水)
27日 親子ふれあいタイム 0歳～11ヶ月(予約10/19)	21日 子育て相談 13～15時受付	16日 親子ふれあいタイム 予約は10月7日(水)
	28日 子育て相談 13～15時受付	22日 子育て講座 予約は10月14日(水)

・火曜日・木曜日は支援室で好きなあそびを履つけて過ごします。
「子育て講座」の参加予約は、『子育て講座』を記入してください。定員になりしだい終了とさせていただきますのでご了承ください。

火曜日の

「親子ふれあいタイム」
※毎週予約が必要です。
10月の親子ふれあいタイムでは、自分の子どもにどんなオモチャを買えば良いか悩んでいるお母さん、遊びを考えているオモチャ選びと一緒に考えてみましょう。

水曜日の

「子育て相談」
原則として毎週水曜日
13時～15時に受け付けます
(その他の時間は留守番電話)
発達や健康、しつけや情緒面など、子育ての悩みについて、大学教員などのスタッフが無料で相談に応じます。

木曜日の

「親子ふれあいタイム」
※毎週予約が必要です。
10月のわらべうたは、『ユスリヤユスリヤ』『とんぼとんぼ』です。
食べ物や美味しい季節になりましたね。しっかりと食べて、その後はお子さんと一緒にわらべうたを歌いながら体を動かしましょう。

ほのぼのコラム

福井 広和(初等教育学科准教授・理科教育担当)

初任校(高梁市立松原小学校)の故大家校長の話。

「福井君、梅折る馬鹿、梅折らぬ馬鹿」という語を知ってるかね
「はい。梅の木は、幹強だからといって枝を折ると木そのものが枯れてしまい、逆に梅の木は、かわいそうだからといって伸び放題しておくとうる覚えがとられて木そのものが弱ってしまうという話ですね」
「まあそうじゃが、それは園芸の話でな、ワシの言わんとすることは、子供には梅タイプと梅タイプがあることじゃ。つまり、褒められて伸びる子供と叱られて伸びる子供がおいて、それを覚悟することのできるのがプロの教師というもんじゃないかね」
昔にはあまたの教育書が出回っており、私もずいぶん片断から読みあさってききましたが、これぞ賢く見えるものではなく、結局は一人一人の子どもを見て、ケースバイケースに対応していくより他に方法はなさそうです。
お話を飲みながら校長と語ったあの日から、既に30年の月日が経ちますが、未だに子どもを見る力量がない私です。

子育て講座のお知らせ

10月の講座は、「子どもの発達」についてのお話です。
★10月22日(木)・「子どもの発達」
※予約受付は10月14日(水)～
時間 10:00～
定員 15名
場所 子育て支援室(2階)
講師 就実大学教授 石山 貴章先生
※石山先生にお聞きになりたいことがあれば、予約のメールと一緒に送ってください。

親子ふれあいタイム 11月のお知らせ

★11月の『子育て講座』は、11月19日(木)に「感染症・予防接種について」を予定しています。詳細は11月の『ふれあい通信』でお知らせします。
★11月の『親子ふれあいタイム』では、寒くなる季節のトレトレーニングについてのお話を考えています。11月第1週の予約日は下記の通りです。
11月6日(水)・・・異年齢で遊ぼう<予約10月28日(水)>
11月10日(火)・・・0歳児～11ヶ月<予約11月2日(月)>

親子ふれあいタイムの予約について

就実こども園のHPよりQRコードから予約をしていただく。また、fureai2525@shujitsu.ac.jpと入力していただき、パソコンや携帯から予約をお願いします。予約受付は、予約日の13時からです。
「親子ふれあいタイム」火曜日希望、木曜日希望 「子育て講座」希望と予約されたい日時と曜日
お母さんとお子さんの名前 お子さんの生年月日 電話番号 駐車場の利用が有・無を入力ください。
※受け付けたメールは当日の2日前までに必ず返信いたします。PCからの返信拒否を設定されている方は返信できまませんので、返信のない場合は、電話連絡をお願いいたします。
TEL (086)206-2120 担当 松本

2015(平成27)年10月1日発行 第71号(2)

『ほのぼのコラム』は、就実大学初等教育学科・教育心理学科と就実短期大学幼児教育学科の先生方に、それぞれの専門性を活かして、「子ども」教育・保育」等をキーワードにした内容で自由に執筆していただくコラムです。



◆就実こども園の運動会に参加しませんか。

10月10日(土)に就実こども園の運動会をします。2歳児さん対象に保護者の方と一緒に参加していただけます。メールにて予約をお願いします。
対象年齢： 2歳～2歳11ヶ月
時間： 玄関道路沿いのフットデック付近
集合場所： 10時30分
予約日： 10月1日(木)
競技内容 保護者の方が、お子さんと一緒に走っていただきます。
運動靴等でご参加ください。

5) 平成26年度 事業実績報告

平成26年度に実施したおかやま子育てカレッジ地域貢献事業の概要は以下の通りである。

<p>事業名 親子ふれあいタイム</p> <p>1 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none">・乳幼児の心理発達上、大きな役割を果たす異年齢児（0～5歳児）の交流の「場」の構築・他の親子の姿を見ることによる自らの子育てスタイルの確立・親の子育て不安を相談できる「場」と大学・短期大学・関係協力機関などの人的資源の活用 <p>2 実施日</p> <p>平成26年5月1日から毎週火曜日と木曜日、週2回（10：00～12：30） 合計64回を実施</p> <p>3 内容</p> <p>0歳から5歳までの乳幼児を持つ親子を定期的に受け入れ、就実こども園2階の子育て支援室で行ってきた。火曜日はサークル活動をとって20組の親子（4クラス）を決め、年間で計画した活動を楽しんだ。木曜日はプログラムのない自由な形で親子で過ごしてきた。</p> <p>また子育て講座として研修室で身近な知りたい内容の講座を開催した。火曜日と木曜日は園庭開放し、いつでも園庭で遊んで過ごせるよう設定した。本事業を通して、異年齢児との交流を行う場、親同士の交流の場、親の子育て不安を相談できる場、親の学び場等を構築することができた。</p> <p>募集については就実こども園、就実大学・短期大学ホームページ等での告知、就実子育てアカデミー子育て支援携帯電話ポータルサイトを活用し、幅広くPRを行った。申込みは、親子ふれあいタイムが混雑しないように事前に受け付けを行い、人数に一定の制限を設け、安全・安心な活動の場となるように配慮してきた。また、子育てに関する情報発信として「親子ふれあいタイム通信」等を継続して発行。子育て支援携帯電話ポータルサイト（http://shujitsu-kosodate.jp/）の運営も行った。</p> <p>4 参加数</p> <p>1,944人（大人1,021人、子ども909人）、ボランティア学生14人</p> <p>5 成果等</p> <p>就実教育実践研究センターが地域のNPO、学校、保育所、町内会、企業、行政と協働して運営している「就実子育てアカデミー」の事業の一環として、本年度も親子ふれあいタイム事業を継続してきた。情報は広く知れ渡り、岡山市はもとより市外からの参加者もあるので、安心・安全の観点から予約制を導入している。就実こども園の施設を利用し、ゆったりと遊べる空間で、親と子どもがふれあう時間を提供できることは、他の親子と知り合う場となり、子育てについて意見交換したり友達を見つけた</p>

り親の願いにもかなうものとなり子育てを楽しむ輪が広がると考える。本学の学生も、子どもとその保護者にかかわる機会に恵まれ、直接体験を通して子ども理解を深めている。

親子ふれあいタイム最大の特徴は、親の学び講座である。親子が集うことにより、他の親子の子育てスタイルを学ぶことに加え、希望者を対象に、各種の子育て講座を提供した。教員、スタッフ、外部スタッフなどが講師となり、「離乳食について」「トイレトレーニング」「ベビーマッサージ」「わらべうた・絵本」「菌磨き指導」「家族の健康について」「親子体操」「親子でリトミック」「ベビーサイン」「乳幼児からの性教育」等の講座を継続的に開催した。子育て講座を受講する参観者はとても熱心であり、講座後も質問等で話が盛り上がることも多く、参加者同士のネットワークも構築されているものと考えている。

その他、親子ふれあいタイムに関しては、専任保育スタッフを配置し、スタッフが当日の参加者の様子、相談内容等を相互に報告する振り返りを充実させることにより、支援事業の質を高めていくことに配慮してきた。

Ⅲ. まとめ

就実教育実践研究センターが地域のNPO法人、学校、保育所、町内会、企業、行政と協働して運営している「就実子育てアカデミー」事業の一環として、本年度も、就実こども園での活動を中心として「親子ふれあいタイム」を継続してきた。情報は広く知れ渡り、岡山市はもとより市外からの参加者もあり、子育て支援の拠点として活動を行ってきた。

子育て講座では、子育て真最中のお母さん方が最も興味関心があるテーマを取り上げて、講師の先生を呼んで講座を開いた。お母さん方の知りたい情報の講座を設けるため、とても熱心に聞く姿が多く見られた。また、大学の先生、管理栄養士、助産師、保健師等それぞれの専門性の高い先生方が、ご自分の子育て経験を踏まえて話もしていただき「わかりやすく、共感でき気持ち軽くなった」との声が多く聞かれた。子育て中のお母さんの悩みを聞かせていただく中で、ひとりで子育てを頑張るのではなく子育て担当職員が「共に（一緒に）頑張るって行こう」の声掛けをし、就実の子育て支援に来られた方が、“ほっこり”できる居場所づくりを目指して子育て支援を行っている。

一方、就実こども園の施設を利用し、ゆったりと遊べる空間で、親と子どもがふれあう時間を提供できることは、他の親子と知り合う場となり、子育てについて意見交換したり友達を見つけたり親の願いにもかなうものとなり子育てを楽しむ輪が広がっていると考える。本学の教職員や学生たちも、子どもとその保護者にかかわる機会に恵まれ、直接体験を通して子ども理解を深めている。今後も、本事業を通して、異年齢児との交流を行う場、親同士の交流の場、親の子育て不安を相談できる場、親の学び場等を地道に構築していくことができると考えている。

子ども園における「親子ふれあいタイム」は、家庭の教育力の向上についても意識しながら保育現場の先生方及び支援して下さる先生方や支援員、ボランティアなどを中心に実践がなされている。今後も、保護者同士及び子どもたちを含めた子育て支援活動の推進と交流、学び合いを促進し、地域に開かれた子育て支援活動を展開していきたいと考える。

謝辞

就実子育てアカデミーならびに就実こども園における“親子ふれあいタイム”やボランティア活動等にご協力いただいている皆様に感謝申し上げます。

【文献】

- 星三和子・塩崎美穂・向井美穂・上垣内伸子（2014）：地域子育て支援拠点における困難や悩みをもつ親の支援に関する考察－支援職の「語り」の分析－, 22-33.
- 前田正子（2014）：「みんなでつくる 子ども・子育て支援新制度 子育てしやすい社会をめざして」, ミネルヴァ書房.
- 中谷奈津子（2014）：地域子育て支援拠点事業利用による母親の変化－支援者の母親規範意識と母親のエンパワメントに着目して－, 保育学研究, 52(3), 9-21.
- 岡山県（2015）：「岡山いきいきこどもプラン2015－すべての子どもたちが晴れやかな笑顔で暮らす生き生き岡山を目指して－」.
- 大日向雅美（2014）：子育て支援のこれまでとこれから－新たなステージを迎えて－, 発達, 140, Vol.35, 2-9.
- 大豆生田啓友（2014）：新制度時代の保育の場における子育て支援の展望と課題, 発達, 140, Vol.35, 36-42.
- 佐藤和順・北川歳昭・秋山明男（2011）：就実教育実践研究センターと子育て支援3－大学附属機関による地域子育て支援事業モデル－, 就実教育実践研究, 4, 113-129.
- 佐藤和順・北川歳昭・柏まり（2012）：就実教育実践研究センターと子育て支援4－大学附属機関による地域子育て支援事業モデル－, 就実教育実践研究, 5, 157-173.
- 渡邊英則（2014）：認定こども園の現状と課題, 保育学研究, 52, 132-139.